

Lesson 12 「平安京と征夷」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【平安遷都と律令政治の再編成】

①平安遷都（都の造営） = 【★ 】

- 784年：桓武天皇が平城京から山背国の〔1 〕に遷都
→ 造宮責任者〔2 〕暗殺、早良親王廃太子、天災などで挫折
- 794年：山背国葛野郡の〔3 〕に遷都し、国名を山城国に改称
→ 平城京所在の寺院の新都移転を禁止、〔4 〕を建立
→ 平安京遷都以降、鎌倉幕府が開かれるまでの約400年を「平安時代」という

②東北経営（蝦夷征服） = 【★ 】

- 〔5 〕を征夷大將軍として胆沢盆地に侵攻
→ 802年に蝦夷の首長：〔6 〕を屈服させる
鎮守府を〔7 〕から、さらに北方の〔8 〕に移す
現：宮城県多賀城市 現：岩手県奥州市

③律令体制の再建

- 辺境以外の軍団・兵士を廃止し、郡司の子弟を〔9 〕として採用
- 国司交替の際の引継業務を監察するため〔10 〕を設置
- 雑徭の半減、12年1班として班田を励行
- 「軍事」と「造作」を継続するか否かをめぐり貴族間に意見対立が発生
→ 菅野真道が<継続>、藤原緒嗣が<中止>を主張し、後者の意見を採用（徳政相論）

④嵯峨天皇の政治

- 嵯峨天皇 ⇄ 平城太上天皇 による「二所朝廷」の発生
→ 810年に平城太上天皇の変 = 薬子の変が発生し、藤原式家が没落
- 時代に合わせ、あらたに令外官（= 令に規定のない官職）を設置されていく
- 嵯峨天皇が〔11 〕を〔12 〕に任命
→ 蔵人所が天皇の秘書局として太政官との連絡を担う
- 京都の治安維持のために〔13 〕を設置

⑤法制の整備

- 律令を補足修正する〔14 〕と、施行細則である〔15 〕を整理
→ 弘仁格式・貞観格式・延喜格式の「三代格式」の編纂
- 養老令の解釈を定めるため清原夏野・小野篁らが〔16 〕を編纂
→ 後に惟宗直本が私的な注釈書である〔17 〕を編纂

【平安初期の密教文化】

①弘仁・貞観文化の性格

- 平安遷都から9世紀末の文化を〔18 〕文化と呼ぶ
- 文芸によって国歌の隆盛をめざす〔19 〕思想が発達
- 加持祈禱により現世利益を求める〔20 〕が流行

②密教の伝来

- 遣唐使として入唐し帰国した〔21 〕 = 伝教大師 が天台宗を創始
→ 比叡山延暦寺を開き、大乘戒壇の設立を要求
→ 最澄の死後になり弟子の円仁・円珍によって密教化 ⇒ 〔22 〕
- 遣唐使として入唐し「密教」を学んだ〔23 〕 = 弘法大師 が真言宗を創始
→ 高野山金剛峰寺・教王護国寺（東寺）を開いて拠点化 ⇒ 〔24 〕
→ 密教思想の普及、加持祈禱の流行、空海の神格化

③信仰の展開

- 神道と仏教を融合させる〔25 〕の思想/風潮が広がる
→ 神社に神宮寺が建立され、神前で読経がおこなわれる
- 非業の死をとげた人物が怨霊となる御霊信仰が広まる
→ 〔26 〕を祀った北野神社（北野天満宮）など
- 密教と山岳信仰が結びついた修験道が出現

④密教芸術

- 建築：地形に応じて伽藍を自由に配置した山岳寺院の建立（大和の室生寺など）
- 仏像：〔27 〕の技法、神護寺薬師如来像、観心寺如意輪観音像
- 絵画：密教の思想を構図化した〔28 〕、不動明王像
例：園城寺不動明王像（黄不動）、教王護国寺両界曼荼羅など

⑤漢文学の隆盛

- 漢詩文が隆盛し、勅撰漢詩文集が編纂
→ 〔29 〕・『文華秀麗集』・『経国集』など
- 空海の漢詩文を集めた〔30 〕も編纂される
- 唐風の書道が好まれる、嵯峨天皇・空海・橘逸勢の3人 = 〔31 〕

⑥教育の進展

- 有力貴族は子弟の教育のために大学別曹を設立
→ 和氣氏の弘文院、藤原氏の〔32 〕、
橘氏の学館院、在原氏の〔33 〕、ほか
- 空海… 庶民教育のために〔34 〕を設立